

第62期

# 株主通信

2015年4月1日～2016年3月31日

— 連結業績ハイライト

— 株主の皆さまへ

— トップメッセージ

インフォメーション領域における  
取り組みを強化し、さらなる成長を実現

— 特集

**ICT事業** ますます広がる!

電子マネー決済プラットフォーム  
「Thincacloud / シンカクラウド」

— トップパンフォームズの成長を支える原動力

コーポレートガバナンス体制の進化

— 各事業のトピックス

— TF NOW !

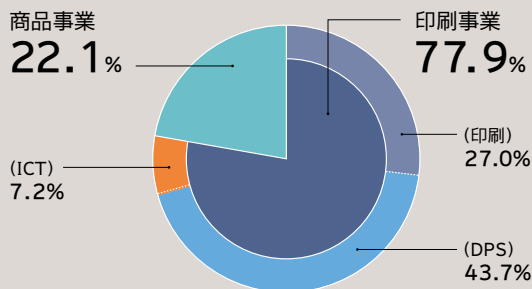
— 会社情報 / 株式情報

— 連結財務諸表(要旨)

— 株主メモ

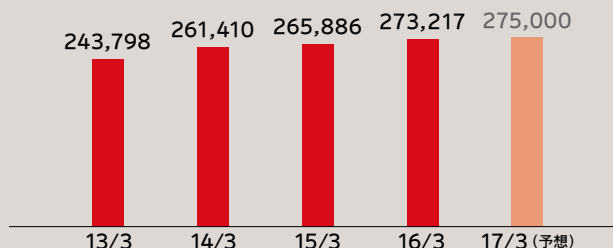
# 連結業績ハイライト 2015年4月1日～2016年3月31日

## 売上高構成比



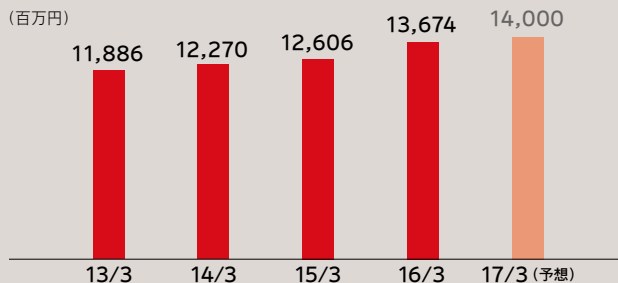
売上高 **273,217** 百万円 (前年比2.8%↑)

(百万円)



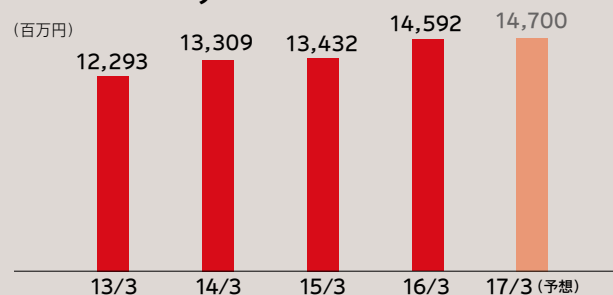
営業利益 **13,674** 百万円 (前年比8.5%↑)

(百万円)



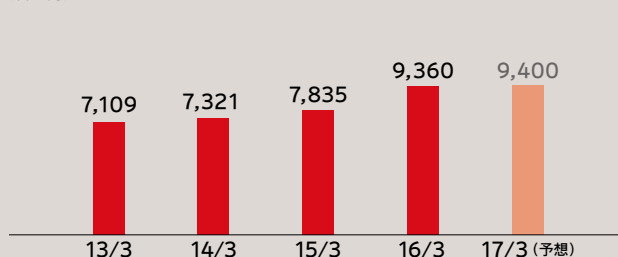
経常利益 **14,592** 百万円 (前年比8.6%↑)

(百万円)



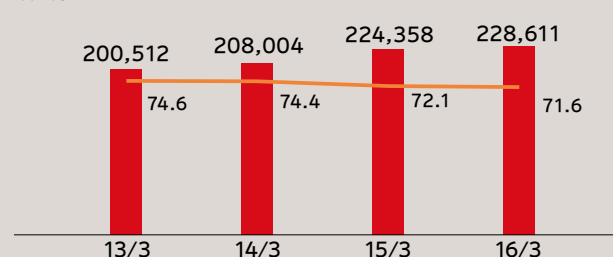
親会社株主に帰属する当期純利益 **9,360** 百万円 (前年比19.5%↑)

(百万円)



総資産 **228,611** 百万円 自己資本比率 **71.6%**

(百万円/%)



■ 総資産 — 自己資本比率

## 株主の皆さまへ



代表取締役会長  
櫻井 醜

代表取締役社長  
坂田 甲一

株主の皆さまには平素より格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、2016年6月29日の株主総会およびその後の取締役会の決議を経て、経営体制を刷新しました。新体制のスタートにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期、当社は厳しい経営環境、市場動向にもかかわらず5期連続の増収増益を達成することができました。これは、当社が着実に成長し続けるための基盤が整いつつあることの表れだと確信しています。今回の人事は、この流れを加速させ、さらなる成長を実現するために行ったものです。

新体制のもと、今後は中期経営計画の基本方針に沿って策定した成長戦略を早期に実現するため、マーケットを先読みした最先端のソリューションの創出に注力するとともに、グループ全体の経営効率の向上や総合力の最大化に取り組んでまいります。また、その一環としてASEANを中心としたグローバル市場をターゲットとした事業の拡大や、公平性と透明性を担保するコーポレートガバナンス体制の構築、他社との明確な差別化を図る情報セキュリティ体制の強化も積極的に進めてまいります。

当社が掲げる経営信条「三益一如」では、私たちは自らを「事務革新のパイオニア」として社会に貢献していく存在であると定義しています。創業の原点とも言うべきこの考え方のもとで培ってきた業務効率向上のノウハウと、イノベーションを生み出す創造力をさらに磨き、お客さまの課題解決に貢献し続けることで持続的な成長を実現してまいります。

2016年6月

代表取締役会長

櫻井 醜

代表取締役社長

坂田 甲一



### インフォメーション領域における取り組みを強化し、さらなる成長を実現

2016年6月29日より代表取締役社長に就任しました坂田 甲一と申します。今後、代表取締役会長の櫻井とともに力を合わせ、トッパンフォームズグループのさらなる成長をリードしていく所存です。

#### 当期の経営環境

さて、第62期（2015年4月1日～2016年3月31日）の決算が終了いたしましたので、ご報告申し上げます。

当期における日本経済は、非製造業を中心に企業収益や雇用情勢が改善し緩やかな回復基調にあったものの、個人消費にはやや足踏みの動きが見られました。また、中国をはじめとするアジア新興国や資源国などの景気減速懸念や、円高・株安による企業収益の下振れリスクもあり、不安定な状況で推移しました。

ビジネスフォーム業界においては、マイナンバー制度に関連したアウトソーシングなどの需要はあったものの、企業の経費削減の徹底による価格低下やIT化・ネットワーク化の進展に加えて、原材料価格や人件費、物流コストの上昇などにより、厳しい経営環境となりました。また、公的機関などにおいて相次いだ個人情報漏えい事件などの影響もあり、情報セキュリティ対策の重要性がより一層高まりました。

#### 5期連続増収増益を達成

そのような状況の中、当社グループは、ビジネスプロセスアウトソーシング（BPO）の受託拡大を図るとともに、ペーパーメディアとITを組み合わせた独自ソリューションや電子

#### セグメント別売上高

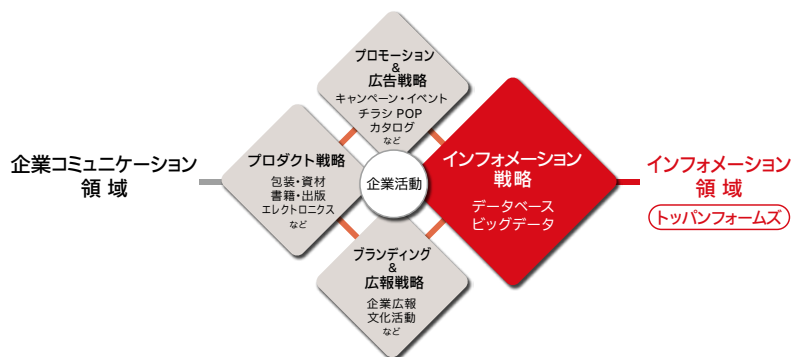
印刷事業

2,128 億円 (前年比 4.2%↑)

商品事業

603 億円 (前年比 2.0%↓)

## 企業活動における戦略と当社の事業領域



### Information Management領域を ドメインとした事業拡大を加速する

- ペーパーメディアとITの融合
- パーソナライズマーケティングの強化
- 投資効果の最大化
- 収益基盤のさらなる強化
- 働きがいのある職場環境づくり

マネー決済プラットフォームなどの新事業の拡販に努め、5期連続の増収増益を達成しました。セグメント別では、印刷事業は増収増益、商品事業は減収減益となりました。

当期の業績においては、デジタル印刷技術を活用したパーソナル印刷物需要の取り込みが進んだことに加え、官公庁・自治体や金融機関を中心としたプリント業務一括アウトソーシングおよびBPO受託が堅調に推移したことが大きく貢献しました。

収益面については、売り上げの増加に伴う利益増の他、かねてから取り組んでいる製造拠点の集約や、生産性向上によるコスト削減効果の発現などにより、増益となりました。

### 強みを活かした事業拡大に注力

新たに迎えた第63期においては、従来の中期経営計画をブラッシュアップし、当社グループの強みや向かうべき方向性、事業領域をより明確にした「Information Management領域をドメインとした事業拡大を加速する」を基本方針としま

した。これは、企業や団体が活動する上で必要となるさまざまな戦略の中で、当社グループが最も得意とし、他社と差別化された独自のソリューションを提供することができるインフォメーション戦略の領域における取り組みを強化していくことで、さらなる成長を目指すものです。

この基本方針のもと、当社グループでは積極的なM&Aや資本提携なども視野に入れ、既存事業の強化はもとより、次なる成長の柱となる新たな事業の創出へも積極的に取り組み、株主の皆さまをはじめとする当社を取り巻くさまざまなステークホルダーとの調和を図りながら、持続的な成長を目指してまいります。

皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016年6月  
代表取締役社長

坂田 甲一

ICT事業 ますます広がる！電子マネー決済プラットフォーム

# 「Thincacloud / シンカクラウド」

さあ、お出掛け！駅の改札を通して、電車に乗る前にエキナカでちょっとお買い物、こんなよくある光景を便利にしているのが電子マネーです。手軽に決済できるため、利用シーンが広がっていますが、その拡大に一役買っているのが、トッパンフォームズグループが提供する「シンカクラウド」です。

導入スポット  
拡大中！

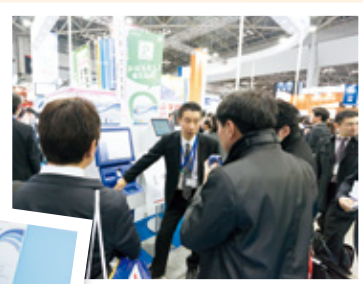
## 身近な便利を支えるトッパンフォームズ

従来、電子マネーカードで決済するためには、それぞれのカードに対応した専用端末が必要でした。そのため、複数の電子マネーに対応しようとする、店頭にたくさんの端末を置かなければなりません。1台で複数の電子マネーに対応した端末もありますが、端末本体が高価で導入コストが大きいという課題がありました。

トッパンフォームズが開発した「シンカクラウド」は、決済処理をクラウド上で行うため、端末を簡略化でき、導入コストを抑えることができます。そのため、中小規模の小売店や、コインランドリー、アミューズメント施設など、これまでは電子マネーの導入が進んでいなかった領域のお客さまからも注目を浴びています。2016年3月には主要6電子マネー（交通系、楽天Edy、nanaco、WAON、iD、QUICPay）への対応が完了しました。今後は、開発から拡販へと軸を移し、さまざまな取り組みを加速させていきます。

## 「シンカクラウド」をもっと！アピール

2016年3月に開催された流通小売業向けの国内最大級の展示会である「リテールテックJAPAN 2016」に出展。当社ブースでは、具体的な利用シーンを体験できる展示などを行い、300社以上の来場者の方に、「シンカクラウド」へ興味を持っていただきました。



全国の  
空港で!

## 空港の新自動チェックイン機で採用

全日本空輸株式会社さまの新自動チェックイン機に「シンカクラウド」が採用され、同社が就航する国内53空港に導入されました。小型化した新自動チェックイン機に当社製の電子マネーリーダーを採用いただいたことで、省スペース化と同時にシンクライアント型の特長である低コストでの電子マネー決済を実現しました。

この端末では、現在「楽天Edy」による電子マネー決済での支払いが可能ですが、今後はクラウド側のソフトウェアを更新するだけで「シンカクラウド」に対応する各種電子マネーも利用が可能になります。



ゲーム  
センターで!

## アミューズメントゲームで採用

株式会社セガ エンタテインメントさまが運営する「クラブセガ新宿西口」の「UFOキャッチャー」などのプライズゲーム、カードゲームやプリントシール機など、さまざまなゲーム機に「シンカクラウド」が採用されました。

「シンカクラウド」の導入により、店舗のキャッシュレス化を実現。従来に比べ、ユーザーが手軽にプレー料金を支払える基盤を整備しました。これにより、両替機のトラブルや小銭の集金作業にまつわる店舗従業員の作業が軽減されるとともに、例えば100円単位でしか設定できなかったプレー料金を1円単位で変更することで、時間や店舗立地、ターゲット顧客などに合わせた適正な価格やサービスの設定が可能となります。



トッパンフォームズの成長を支える原動力

# コーポレートガバナンス体制の進化

昨年の金融庁と東京証券取引所による「コーポレートガバナンス・コード」の制定を大きな契機として、コーポレートガバナンス（企業統治）が注目を集めています。

持続的な成長と中長期的な企業価値向上のため、株主やステークホルダーとの関係、情報開示と透明性、取締役会の責務、株主との対話など、日本企業はさまざまな変革を迫られています。



総務本部法務部長  
佐々木 信

## トッパンフォームズのガバナンスの最新動向

### 成長を加速させるための攻めのガバナンス体制を整えています

当社は2015年11月に「コーポレートガバナンス基本方針」をまとめ、ウェブサイトで公開しました。ここでは、ガバナンスに関する基本的な考え方や取り組み状況およびコーポレートガバナンス・コードへの対応状況など、多岐にわたる内容がまとめられています。

また、体制面も変化しており、2016年7月1日からは社外取締役を1名増員し、計2名とする予定です。マーケティングの専門家、公認会計士という社内とは異なる知見を持つ立場から、当社の経営に対するアドバイスを期待しています。

また、取締役会のメンバーも15名から11名にスリム化。議論の深化とともに、迅速かつタイムリーな経営判断を目指しています。



コーポレートガバナンスへの取り組み内容は以下よりご覧いただけます。  
<http://www.toppan-f.co.jp/ir/governance.html>





## 変化するトッパンフォームズのガバナンス体制

取締役会の人数

15名 → 11名

社外取締役の人数

1名 → 2名

- 急激に変化する事業環境に対応すべく、スリム化
- 議論の深化と、迅速かつタイムリーな経営判断を目指す
- さまざまな知識・経験・能力を有する方を迎え入れることで、幅広い議論を活性化
- 外部の視点を取り入れ、経営の透明性を高める

### 社外取締役からのコメント

#### 専門性を活かした発言で、企業の成長に貢献する

当社の取締役会の特徴は、自由な発言を尊重しながらも、明確な結論を導くことを目的とした議論がなされている点にあります。また、社外役員の声にもしっかりと耳を傾ける土壌に、当社の「懐の深さ」を感じています。

取締役会では、目の前の議案だけではなく「トッパンフォームズ」という企業の過去・現在・未来を理解した上で議論に参加することが重要です。そのため、取締役会の前の議案説明時には、その案件が提出された理由や背景について納得がいくまで質問するようにしています。また、「社外の人間」だから気付くこと、専門とするマーケティングの観点から気付くことを中心に発言するよう心掛けています。



社外取締役  
ルディー 和子



社外取締役 (2016年7月1日就任予定)  
天野 秀樹

#### 「財務」と「現場」の両方の視点から企業理解を深める

社外取締役に選任されました天野秀樹です。私は長年、公認会計士として監査業務ならびにコンサルティング業務に携わっており、その経験・知見を活かして議論に臨みたいと考えています。ビジネスの成果は必ず財務数値として表われますので、「トッパンフォームズ」という企業が、どのような経営指標に基づいて経営判断を行っているのか非常に関心があります。

一方、企業を深く理解するためには、財務数値はもとより、何よりも「現場」が重要だと思っています。今後、全国にある事業所や工場見学を通して、トッパンフォームズを立体的に理解し、積極的に議論に参加したいと考えています。

### 印刷

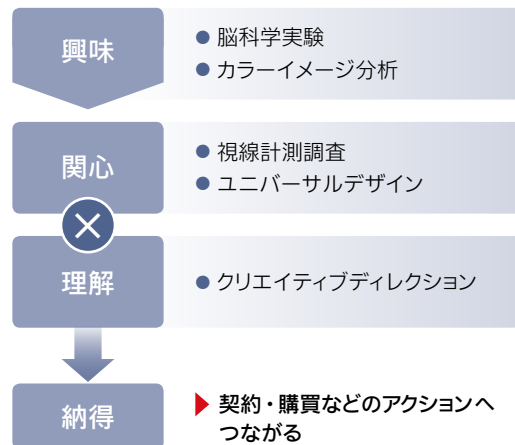
## 根拠に基づいたデザイン設計ソリューション「フォームズクリエイビ」を開発

科学的な調査に基づいた「根拠（エビデンス）」により、レイアウトやデザインなどのクリエイティブ面から生活者に対するコミュニケーション施策の効果を最大化する新たなソリューション「フォームズクリエイビ」を開発しました。

「フォームズクリエイビ」では、コミュニケーションツールに接する際の人の心理的ステージを「興味」「関心」「理解」「納得」の4つに分解し、ステージごとに「受け手に届かせる」ためのソリューションを展開します。中でも「興味」ステージでは、「脳科学」の実験結果から得た根拠を活かし、人の本能的な部分に訴えかけることで興味喚起を図るクリエイティブを実現します。

今後、「LABOLIS（ラボリス）」「Ugocus（ウゴカス）」など他サービスとの連携を図ることで、より効果的なコミュニケーション施策の開発に貢献していきます。

トップバンフォームズが提供するサービス



### 商品

## 「PASiD」が全国の自治体で好調

マイナンバー制度の施行に伴い、交付される個人番号カードや個人番号通知カードに関連する自治体の窓口業務は大幅に増加しています。

当社は、その窓口業務の効率化を図る「PASiD（パシッド）」を2015年4月より発売。真贋判定<sup>しんがん</sup>、スキャン、プリントの機能を一台に集約したことに加え、窓口業務に支障のない小型サイズを実現した点が好評を博しています。現在、「PASiD」は、全自治体の約4割に導入されており、さらなるシェア拡大を目指しています。

「PASiD」の三大機能

1. 偽造を見抜く  
（真贋判定）

2. カード情報を  
スキャンする

3. 変更情報を  
プリントする



URL

「PASiD」の詳細は以下よりご覧いただけます。  
<https://youtu.be/e6s3h6bWLUI>

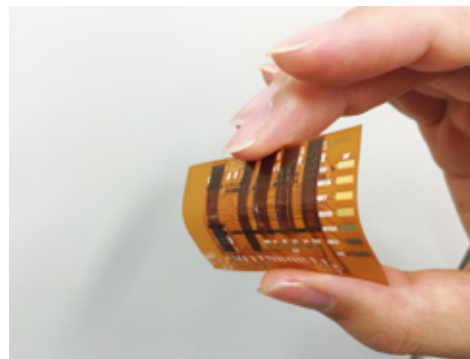


## ICT

### 商用ICカード規格で動く有機半導体デジタル回路を開発

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) が推進するプロジェクトに参画し、温度センサー機能付き有機半導体デジタル回路を開発しました。

今回開発した回路は、スマートフォンや電子マネーカードなどで一般的なNFC (Near Field Communication) 規格への応用が可能です。また、従来と比べて大幅な低コスト化が可能になります。ヘルスケア関連など、厳格な温度管理が必要となる輸送シーンでの活用などを視野に、引き続き研究を進めていきます。



開発に成功した有機半導体デジタル回路

## 海外

### タイの子会社が政府より表彰

タイの子会社データ・プロダクツ・トッパン・フォームズ社 (DPTF) が、社会福祉や託児所の発展に大きく寄与したとして、同国の社会開発安全保障省から表彰を受けました。

DPTFは福利厚生の一環として、2008年に本社と工場に企業内託児所を開設しました。これはタイでは初めての試みであり、同社をモデルケースに同様の取り組みを行う企業も生まれたことから、この度の表彰となりました。

当社グループは、引き続き、現地の政府・従業員・お客さまとの信頼関係を築きながら海外事業を拡大していきます。



DPTFが運営している企業内託児所

TF  
NOW!

## 平成28年熊本地震復興支援「きずな展」を開催

著名なクリエイターの作品をオークション形式で展示販売し、その売上金の全額を熊本地震復興支援の義援金として寄付するチャリティーイベント「きずな展」を開催します。会場では、展示作品のポストカードの販売も行っています。ぜひこの機会に復興支援活動にご協力ください。多くの方のご来場を心よりお待ちしております。

### 「きずな展」開催概要

2016年7月1日(金)～10日(日) 10:00～19:00

会場：トッパンフォームズビル(汐留)1階

オープンスペース(入場無料)

URL

「きずな展」の詳細は以下よりご覧いただけます。  
<http://www.toppan-f.co.jp/kizuna/>



写真は2011年に開催した「きずな展」の様子です。



## テーマ銘柄への選定：「社会から評価される企業」として

「テーマ銘柄」とは、個人投資家の方に株式投資を考えるきっかけや関心材料にさせていただくために経済産業省や東京証券取引所が公表しているもので、特定のテーマに優れた企業が選定されています。

当社は、2014年に選定された「ダイバーシティ経営企業100選」に加え、2016年には以下3つの銘柄に選定されました。



ダイバーシティ  
経営企業100選\*1  
2014年選定



なでしこ銘柄\*2  
3年連続選定



攻めのIT経営銘柄\*2  
2年連続選定



健康経営銘柄\*2  
2016年初選定

\*1 経済産業省が選定。選定は1企業あたり1回限りとなります。 \*2 経済産業省・東京証券取引所が選定。毎年選定が行われ、選定企業は入れ替わります。

# 連結財務諸表（要旨）

## 連結貸借対照表

（単位：百万円）

| 科 目            | 前連結会計年度<br>(2015年3月31日) | 当連結会計年度<br>(2016年3月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------|
| <b>資産の部</b>    |                         |                         |
| 流動資産           | 121,637                 | 128,291                 |
| 固定資産           | 102,720                 | 100,320                 |
| 有形固定資産         | 72,825                  | 71,012                  |
| 無形固定資産         | 6,341                   | 6,284                   |
| 投資その他の資産       | 23,553                  | 23,024                  |
| <b>資産合計</b>    | <b>224,358</b>          | <b>228,611</b>          |
| <b>負債の部</b>    |                         |                         |
| 流動負債           | 55,664                  | 56,025                  |
| 固定負債           | 4,777                   | 6,801                   |
| <b>負債合計</b>    | <b>60,442</b>           | <b>62,827</b>           |
| <b>純資産の部</b>   |                         |                         |
| 株主資本           | 155,062                 | 161,648                 |
| 資本金            | 11,750                  | 11,750                  |
| 資本剰余金          | 9,270                   | 9,270                   |
| 利益剰余金          | 138,958                 | 145,544                 |
| 自己株式           | △4,916                  | △4,916                  |
| その他の包括利益累計額    | 6,703                   | 2,083                   |
| 非支配株主持分        | 2,150                   | 2,053                   |
| <b>純資産合計</b>   | <b>163,916</b>          | <b>165,784</b>          |
| <b>負債純資産合計</b> | <b>224,358</b>          | <b>228,611</b>          |

## 連結損益計算書

（単位：百万円）

| 科 目                    | 前連結会計年度<br>(2014年4月1日～<br>2015年3月31日) | 当連結会計年度<br>(2015年4月1日～<br>2016年3月31日) |
|------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| <b>売上高</b>             | <b>265,886</b>                        | <b>273,217</b>                        |
| 売上原価                   | 211,911                               | 215,222                               |
| 売上総利益                  | 53,974                                | 57,994                                |
| 販売費及び一般管理費             | 41,368                                | 44,320                                |
| <b>営業利益</b>            | <b>12,606</b>                         | <b>13,674</b>                         |
| 営業外収益                  | 1,245                                 | 1,089                                 |
| 営業外費用                  | 419                                   | 172                                   |
| <b>経常利益</b>            | <b>13,432</b>                         | <b>14,592</b>                         |
| 特別利益                   | 429                                   | 651                                   |
| 特別損失                   | 681                                   | 623                                   |
| <b>税金等調整前当期純利益</b>     | <b>13,180</b>                         | <b>14,620</b>                         |
| 法人税等合計                 | 5,310                                 | 5,124                                 |
| 当期純利益                  | 7,870                                 | 9,496                                 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益        | 35                                    | 135                                   |
| <b>親会社株主に帰属する当期純利益</b> | <b>7,835</b>                          | <b>9,360</b>                          |

## 連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

| 科 目              | 前連結会計年度<br>(2014年4月1日～<br>2015年3月31日) | 当連結会計年度<br>(2015年4月1日～<br>2016年3月31日) |
|------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 26,419                                | 14,362                                |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △7,788                                | △5,467                                |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △2,932                                | △2,831                                |
| 現金及び現金同等物の期首残高   | 37,681                                | 53,497                                |
| 現金及び現金同等物の期末残高   | 53,497                                | 59,494                                |

## 会社概要 (2016年3月31日現在)

|          |                              |
|----------|------------------------------|
| 商号       | トッパン・フォームズ株式会社               |
| 英文名      | TOPPAN FORMS CO., LTD.       |
| 本店所在地    | 東京都港区東新橋一丁目7番3号              |
| 電話       | (03) 6253-6000<br>(ダイヤルイン案内) |
| 設立       | 昭和30年5月2日                    |
| 資本金      | 117億5,000万円                  |
| 発行済株式総数  | 115,000,000株                 |
| 従業員数(単体) | 1,879名                       |
| 従業員数(連結) | 12,049名                      |

## 役員 (2016年6月29日現在)

|         |         |
|---------|---------|
| 代表取締役会長 | 櫻井 勲    |
| 代表取締役社長 | 坂田 甲一   |
| 専務取締役   | 増田 俊朗   |
| 専務取締役   | 亀山 明    |
| 常務取締役   | 福島 賢一   |
| 常務取締役   | 浜田 光之   |
| 取締役     | 足立 直樹   |
| 取締役(社外) | ルディー 和子 |
| 取締役(社外) | 天野 秀樹*  |
| 取締役     | 福島 啓太郎  |
| 取締役     | 岡田 康宏   |
| 常勤監査役   | 堀 喬一    |
| 監査役(社外) | 木下 徳明   |
| 監査役     | 佐久間 国雄  |
| 監査役(社外) | 尾畑 亜紀子  |

\* 2016年7月1日付で就任予定

## 国内の主要事業所および拠点 (2016年3月31日現在)

|     |   |
|-----|---|
| 本社  | 東京都港区東新橋一丁目7番3号   |
| 事業所 | 営業統括本部・東京事業部(東京都港区)<br>製造統括本部(東京都港区)<br>東日本事業部(宮城県仙台市)<br>中部事業部(愛知県名古屋市)<br>関西事業部(大阪府大阪市)<br>西日本事業部(福岡県福岡市) |
| 研究所 | 中央研究所(東京都八王子市)  |

## 主要子会社および持分法適用会社 (2016年3月31日現在)

|    |   |
|----|---|
| 国内 | トッパン・フォームズ・セントラルプロダクツ株式会社(東京都八王子市)<br>トッパン・フォームズ東海株式会社(静岡県浜松市)<br>トッパン・フォームズ・オペレーション株式会社(東京都港区)<br>テクノ・トッパン・フォームズ株式会社(東京都江東区)<br>トッパン・フォームズ・サービス株式会社(埼玉県所沢市)<br>トッパン・フォームズ関西株式会社(大阪府三島郡)<br>トッパン・フォームズ西日本株式会社(熊本県玉名市)<br>山陽トッパン・フォームズ株式会社(広島県東広島市)<br>株式会社トスコ(岡山県岡山市)<br>TFペイメントサービス株式会社(東京都港区)<br>株式会社ジェイ エスキューブ(東京都江東区) |
| 海外 | トッパン・フォームズ(香港)社(中国・香港)<br>トッパン・フォームズ(シンガポール)社(シンガポール)<br>データ・プロダクツ・トッパン・フォームズ社(タイ)  |

- 連結子会社数：23社
- 持分法適用会社数：3社

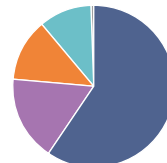
## 株主(上位10名)・株式分布状況 (2016年3月31日現在)

| 株主名   | 当社への出資状況    |             |
|---|-------------|-------------|
|   | 株式数<br>(千株) | 持株比率<br>(%) |
| 凸版印刷株式会社  | 67,419      | 60.74       |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社                                  | 6,796       | 6.12        |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社                                    | 2,985       | 2.69        |
| CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY                             | 2,086       | 1.88        |
| トッパン・フォームズグループ従業員持株会                                  | 2,046       | 1.84        |
| 資産管理サービス信託銀行株式会社                                      | 1,642       | 1.48        |
| J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A.                      | 1,444       | 1.30        |
| UBS SECURITIES LLC-HFS CUSTOMER<br>SEGREGATED ACCOUNT | 1,360       | 1.23        |
| CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS<br>ACCOUNT ESCROW    | 1,019       | 0.92        |
| 野村信託銀行株式会社  | 713         | 0.64        |

注1. 当社は自己株式4,003千株を保有しておりますが、上記の表から除外しております。  
注2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

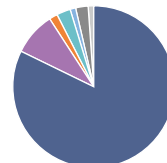
## 所有者別株式分布状況

|            |                  |
|------------|------------------|
| ■ その他法人    | 68,651千株 (59.7%) |
| ■ 外国法人等    | 19,478千株 (16.9%) |
| ■ 金融機関     | 14,363千株 (12.5%) |
| ■ 個人・その他   | 12,026千株 (10.5%) |
| ■ 金融商品取引業者 | 479千株 (0.4%)     |

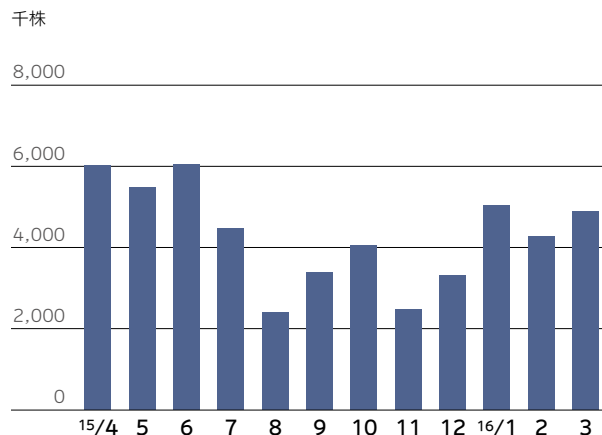
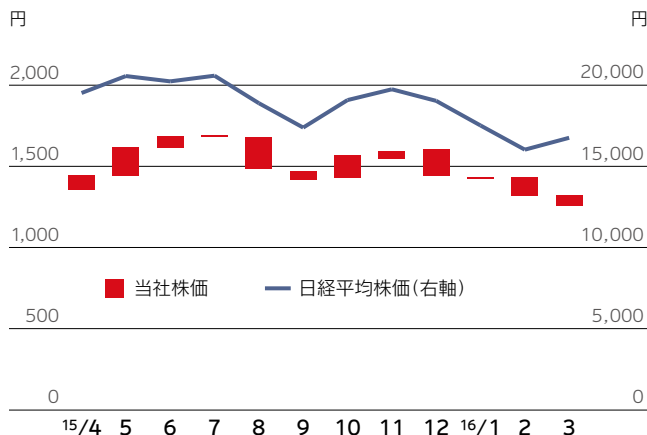


## 所有株数別株式分布状況

|           |                  |
|-----------|------------------|
| ■ 100万株以上 | 94,808千株 (82.4%) |
| ■ 10万株以上  | 9,879千株 (8.6%)   |
| ■ 5万株以上   | 1,932千株 (1.7%)   |
| ■ 1万株以上   | 3,168千株 (2.8%)   |
| ■ 5千株以上   | 1,304千株 (1.1%)   |
| ■ 1千株以上   | 2,836千株 (2.5%)   |
| ■ 1千株未満   | 1,070千株 (0.9%)   |



## 株価・出来高推移 (東京証券取引所)



## 株主メモ

|          |  |
|----------|--|
| 事業年度     | 4月1日から翌年3月31日まで  |
| 定時株主総会   | 毎年6月   |
| 株主確定基準日  | 定時株主総会・期末配当金 3月31日<br>中間配当を行う場合 9月30日<br>その他必要があるときは、<br>あらかじめ公告いたします。   |
| 公告方法     | 電子公告により、当社ホームページ<br>( <a href="http://www.toppan-f.co.jp/">http://www.toppan-f.co.jp/</a> )に掲載<br>いたします。なお、やむを得ない事由により、<br>電子公告によることができない場合は、日本<br>経済新聞に掲載いたします。 |
| 株主名簿管理人  | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  |
| 特別口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社  |
| 同連絡先     | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>〒137-8081<br>東京都江東区東砂七丁目10番11号<br>0120-232-711 (通話料無料)  |
| 1単元の株式の数 | 100株   |
| 上場取引所    | 東京証券取引所  |
| 証券コード    | 7862   |

### ご注意

1. 株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として口座を開設されている証券会社などが受付窓口となります。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。郵便物などの発送・返戻、未受領の配当金などにつきましては三菱UFJ信託銀行株式会社で承ります。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社で受付いたします。
3. 特別口座に記録された株式を市場で売却する場合は、特別口座から直接売却することができませんので、証券会社などの口座に振り替える必要がございます。

## トッパン・フォームズ株式会社

本店 〒105-8311 東京都港区東新橋一丁目7番3号  
<http://www.toppan-f.co.jp/>